

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公表番号】特表 2018-531215 (P2018-531215A)

【公表日】平成 30 年 10 月 25 日 (2018.10.25)

【年通号数】公開・登録公報 2018-041

【出願番号】特願 2018-505586 (P2018-505586)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 31/429 (2006.01)

A 6 1 K 38/20 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 0 7 D 513/04 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 35/17 A

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 31/429

A 6 1 K 38/20

A 6 1 K 38/21

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/10

C 1 2 N 15/113 Z

C 0 7 D 513/04 3 3 1

C 1 2 N 15/09 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 2 日 (2019.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

CD112（ネクチン－2、PVRL2）、CD155（PVR）、ガレクチン－9、TIM－3、及び／またはTIGITに対する阻害物質を含む、血液由来のがん、具体的には急性骨髄性白血病（AML）の治療のための医薬組成物。

【請求項 2】

CD112に対する前記阻害物質が、CD112とTIGITとの間の相互作用を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

CD155に対する前記阻害物質が、CD155とTIGITとの間の相互作用を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

TIGITに対する前記阻害物質が、TIGITとCD112との間の相互作用を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

TIGITに対する前記阻害物質が、TIGITとCD155との間の相互作用を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

ガレクチン－9に対する前記阻害物質が、ガレクチン－9とTIM－3との間の相互作用を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

TIM－3に対する前記阻害物質が、TIM－3とガレクチン－9との間の相互作用を阻害する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

阻害物質が抗体構築物である、請求項1～7のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

CAR T細胞をさらに含む、請求項1～8のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

T細胞と会合する（engage）能力を有する抗体構築物をさらに含む、請求項1～8のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

免疫賦活剤をさらに含む、請求項1～10のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記抗体構築物が、CD3結合ドメインと、AML細胞上に発現した表面分子を標的とする追加の結合ドメインとを含む、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記表面分子が、CD33、CD19、及びFlt3からなる群から選択される、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記抗体構築物が、CD3イプシロンに結合する能力を有する結合分子である、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

CD112に対する前記阻害物質が、CD112の発現を低減する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

CD155に対する前記阻害物質が、CD155の発現を低減する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

T I G I T に対する前記阻害物質が、T I G I T の発現を低減する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

ガレクチン-9 に対する前記阻害物質が、ガレクチン-9 の発現を低減する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

T I M 3 に対する前記阻害物質が、T I M - 3 の発現を低減する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記阻害物質が i R N A である、請求項 15 ～ 19 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

前記阻害物質が C D 1 1 2、C D 1 5 5、T I G I T、ガレクチン-9、及び／または T I M - 3 をノックアウトする、請求項 15 ～ 19 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 22】

前記ノックアウトが C R I S P R / c a s 9 手法によって達成される、請求項 21 に記載の医薬組成物。

【請求項 23】

C D 1 1 2 に対する前記阻害物質が、C D 1 1 2 の細胞内シグナル伝達を調節する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 24】

C D 1 5 5 に対する前記阻害物質が、C D 1 5 5 の細胞内シグナル伝達を調節する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 25】

T I G I T に対する前記阻害物質が、T I G I T の細胞内シグナル伝達を調節する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 26】

ガレクチン-9 に対する前記阻害物質が、ガレクチン-9 の細胞内シグナル伝達を調節する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 27】

T I M - 3 に対する前記阻害物質が、T I M - 3 の細胞内シグナル伝達を調節する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 28】

C D 1 1 2 (ネクチン-2、P V R L 2)、C D 1 5 5 (P V R)、ガレクチン-9、T I M - 3、及び／または T I G I T に対する阻害物質と、C A R T 細胞とを含む、医薬組成物。

【請求項 29】

前記阻害物質が抗体構築物である、請求項 28 に記載の医薬組成物。

【請求項 30】

C D 1 1 2 (ネクチン-2、P V R L 2)、C D 1 5 5 (P V R)、ガレクチン-9、T I M - 3、及び／または T I G I T に対する阻害物質と、T 細胞と会合する能力を有する抗体構築物とを含む、医薬組成物。

【請求項 31】

前記抗体構築物が、C D 3 結合ドメインと、A M L 細胞上に発現した表面分子を標的とする追加の結合ドメインとを含む、請求項 29 に記載の医薬組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

最後に、本明細書に開示の本発明の実施形態は、本発明の原理の例示であると理解されることになる。用いられ得る他の改変は、本発明の範囲に入る。したがって、例として、限定はされないが、本明細書の教示内容に従って本発明の代替形態を利用してよい。したがって、本発明は、詳細に示され説明されるものに限定されない。

[本発明1001]

血液由来のがん、具体的には急性骨髄性白血病（AML）の治療方法における使用を目的とする、CD112（ネクチン-2、PVR L2）、CD155（PVR）、ガレクチン-9、TIM-3、及び／またはTIGITに対する阻害物質。

[本発明1002]

CD112に対する前記阻害物質が、CD112とTIGITとの間の相互作用を阻害する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1003]

CD155に対する前記阻害物質が、CD155とTIGITとの間の相互作用を阻害する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1004]

TIGITに対する前記阻害物質が、TIGITとCD112との間の相互作用を阻害する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1005]

TIGITに対する前記阻害物質が、TIGITとCD155との間の相互作用を阻害する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1006]

ガレクチン-9に対する前記阻害物質が、ガレクチン-9とTIM-3との間の相互作用を阻害する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1007]

TIM-3に対する前記阻害物質が、TIM-3とガレクチン-9との間の相互作用を阻害する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1008]

抗体構築物である、前記本発明のいずれかの使用による阻害物質。

[本発明1009]

CAR T細胞をさらに含む、前記本発明のいずれかの使用による阻害物質。

[本発明1010]

T細胞と会合する（engage）能力を有する抗体構築物をさらに含む、本発明1001～1008のいずれかの使用による阻害物質。

[本発明1011]

免疫賦活剤をさらに含む、前記本発明のいずれかの使用による阻害物質。

[本発明1012]

前記抗体構築物が、CD3結合ドメインと、AML細胞上に発現した表面分子を標的とする追加の結合ドメインとを含む、本発明1010の使用による阻害物質。

[本発明1013]

前記表面分子が、CD33、CD19、及びFlt3からなる群から選択される、本発明1012の使用による阻害物質。

[本発明1014]

前記抗体構築物が、CD3イプシロンに結合する能力を有する結合分子である、本発明1010の使用による阻害物質。

[本発明1015]

CD112に対する前記阻害物質が、CD112の発現を低減する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1016]

C D 155に対する前記阻害物質が、C D 155の発現を低減する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1017]

T I G I Tに対する前記阻害物質が、T I G I Tの発現を低減する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1018]

ガレクチン-9に対する前記阻害物質が、ガレクチン-9の発現を低減する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1019]

T I M 3に対する前記阻害物質が、T I M - 3の発現を低減する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1020]

i R N Aである、本発明1015～1019のいずれかの阻害物質。

[本発明1021]

C D 112、C D 155、T I G I T、ガレクチン-9、及び／またはT I M - 3をノックアウトする、本発明1015～1019のいずれかの阻害物質。

[本発明1022]

前記ノックアウトがC R I S P R / c a s 9手法によって達成される、本発明1021の阻害物質。

[本発明1023]

C D 112に対する前記阻害物質が、C D 112の細胞内シグナル伝達を調節する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1024]

C D 155に対する前記阻害物質が、C D 155の細胞内シグナル伝達を調節する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1025]

T I G I Tに対する前記阻害物質が、T I G I Tの細胞内シグナル伝達を調節する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1026]

ガレクチン-9に対する前記阻害物質が、ガレクチン-9の細胞内シグナル伝達を調節する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1027]

T I M - 3に対する前記阻害物質が、T I M - 3の細胞内シグナル伝達を調節する、本発明1001の使用による阻害物質。

[本発明1028]

C D 112（ネクチン-2、P V R L 2）、C D 155（P V R）、ガレクチン-9、T I M - 3、及び／またはT I G I Tに対する阻害物質と、C A R T細胞とを含む、医薬組成物。

[本発明1029]

前記阻害物質が抗体構築物である、本発明1028の医薬組成物。

[本発明1030]

C D 112（ネクチン-2、P V R L 2）、C D 155（P V R）、ガレクチン-9、T I M - 3、及び／またはT I G I Tに対する阻害物質と、T細胞と会合する能力を有する抗体構築物とを含む、医薬組成物。

[本発明1031]

前記抗体構築物が、C D 3結合ドメインと、A M L細胞上に発現した表面分子を標的とする追加の結合ドメインとを含む、本発明1029の医薬組成物。